

令和2年度 Cyber MRI Work shop 活動報告

2021年3月19日

令和2年度は3回(7月、11月、3月)の研究会を実施致しました。

第3回 Cyber MRI Work shop のテーマは「ファントム」を採択し、基礎から臨床応用まで、論文からの考察を元に、様々な角度からの視点を踏まえた内容で2020年11月26日に実施いたしました。まず、テーマ論文を冒頭に紹介しその後、基礎編と臨床編について以下の内容でご講演いただきました。

基礎編は

- ① 種々の検討項目でどんなファントムを使っているのか論文紹介
- ② チャレンジ企画で4施設合同のファントム実験企画

臨床編は

- ① QIBAのお話を論文から
- ② ファントムの材料

参加登録者は、最終的に292名(前回142名)となり、当日の会場の参加者も常時250名を越す盛況な会となりました。

第3回 Cyber MRI Work shop

日時: 2020年7月16日(木) 午後19時~21時

場所: Zoom Network Meeting

「内容」

造影剤に関する情報提供 ゲルベ・ジャパン株式会社

【導入講演】

「キウイフルーツは前立腺ファントムになりうるか!?~Mullerの報告より~」

帝京大学 林 達也

【基礎講演 基礎編】

「ファントムの選択: どんなファントムを使用する!？」

東京女子医科大学東医療センター 小島 慎也

【基礎講演 臨床編】

「ファントムからどう臨床応用する!？」

東京警察病院 古河 勇樹

第4回 Cyber MRI Work shop は2020年11月26日に実施し「アナタの知らないDWIの世界」というテーマを採択しました。拡散を測定する時の条件がどの様に結果を変化させるか？という事を中心に、論文からの考察を元に、様々な角度からの視点を踏まえた内容で実施致しました。まず、テーマ論文を冒頭に紹介しその後、以下の内容でご講演いただきました。尚、この回より日本磁気共鳴専門技術者の更新ポイントが獲得可能な研究会となっております。

- ① DWIにおけるSNRを検証 - 臨床・研究の観点から
- ② ADCの定量値について - 後処理での影響について
- ③ b値の設定について - 論文と臨床の観点から

参加登録者は、最終的に711名となり、当日の会場の参加者も常時660名を越している大変盛況な会となりました。また、9割の出席率を満たし、出席証明書の発行を希望された方は324名となりました。

第4回 Cyber MRI Work shop

日時：2020年11月26日（木） 午後19時～21時

場所: Zoom Network Meeting

「内容」

造影剤に関する情報提供 ゲルベ・ジャパン株式会社

【導入講演】

「DWIにおけるノイズの影響～Squashing Peanutsのナゾに迫る～ Jonesらの報告より」
京都大学医学部附属病院 佐川 肇

【基礎講演】

「足りてんの？足りてへんの？ そのDWIのSNR ～検証・臨床・研究～」
虎の門病院 福澤 圭

「見た目より中身？ 後処理で定量値の制度は変わるのか??」
名古屋大学大学院総合保健学専攻 菅 博人

「最適b値で狙い撃ち！？ ターゲットでb値は変えるべきか？」
東海大学医学部附属病院 渋川 周平

第5回 Cyber MRI Work shop は2021年3月4日に実施し、第五回特別記念講演会として招待講演を実施致しました。演者は論文の著者自身が研究を掘り下げる＝“深掘り”をテーマに Brain phantom による多施設研究などの豊富な経験をお持ちの東京大学大学院総合文化研究科の五月女康作先生から研究目的を達成するための手段や考え方についてご講演いただきました。参加登録者は、最終的に383名となり、当日の会場の参加者も常時330名を越している盛況な会となりました。また、9割の出席率を満たし、出席証明書の発行を希望された方は175名となりました。

第5回 Cyber MRI Work shop

日時：2021年3月4日（木） 午後19時～21時

場所: Zoom Network Meeting

「内容」

造影剤に関する情報提供 ゲルベ・ジャパン株式会社

【一般講演】

「Web 研究会はじめました ～どうやって？ 何を使って？ 問題点は？～」

東京警察病院 古河 勇樹

【特別招待講演】

「論文の背景から研究方法を紐解く」

研究方法に困っている方へ

～目的に合った方法を選ぶことの重要性とそこに至るまでの考え方～

東京大学大学院総合文化研究科 五月女 康作 先生

今年度は COVID-19 の影響により、多くの研究会、学会が対応を迫られ当会も会期を延長するなどの対策をとった年となりました。依然として不透明な状況となっておりますが、ネットワーク研究会の Cyber MRI Work shop だからこそ果たせる役割があると思っております。今後とも当研究会は歩みを止めず、認定研究会として恥じぬ会となるよう責務を果たして参ります。今後とも皆様のご支援・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

Cyber MRI Workshop 代表世話人 古河勇樹